



令和3年8月24日
内閣府地方創生推進事務局

未来技術社会実装事業（令和3年度選定）について

「未来技術社会実装事業」は、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的で、先導性と横展開可能性等に優れた提案について、各種交付金、補助金等の支援に加え、社会実装に向けた現地支援体制を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を行うものです。

平成30年度より、未来技術社会実装事業として29事業の支援を実施しているところであり、選定事業毎に地域実装協議会を組織し、社会実装に向けたワンストップ支援を実施しております。また、今年度は、スマートシティ関連事業として、提案の公募・採択・実施について関係府省一体で取り組んでおります。

今般、地方公共団体から応募のあった事業のうち、事業内容、期待される効果、地方創生への寄与（革新性、先導性、横展開可能性）等に優れた事業について、スマートシティ関連事業に係る合同審査会の評価を踏まえ、下記のとおり新たに選定しましたのでお知らせします。

今後、順次、選定事業ごとに、社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を行ってまいります。

記

未来技術社会実装事業（令和3年度選定）：9事業

以上

【担当・問合せ先】

内閣府 地方創生推進事務局
中川、右高、上坂、上田（03-6206-6175）

- <添付資料1> 未来技術社会実装事業（令和3年度選定）事業一覧
- <添付資料2> 未来技術社会実装事業（令和3年度選定）事業概要
- <添付資料3> 未来技術社会実装事業 概要

未来技術社会実装事業（令和3年度選定） 事業一覧

No.	提案者	提案タイトル
1	北海道旭川市	ドローン・IoT等の未来技術を活用した非対面医療サービスの構築
2	岩手県陸前高田市 (※)	自動運転サービスの活用による高田松原津波復興祈念公園等における伝承活動促進事業
3	群馬県前橋市	地域「講」モデルでの地域金融再興に向けたDX実証事業
4	埼玉県さいたま市	流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」の社会実装及びMaaS連携
5	石川県中能登町	デジタルを活用した障がい攻略先進のまちづくり
6	岐阜県中津川市 (※)	超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業
7	和歌山県太地町 (※)	自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業
8	佐賀県嬉野市 (※)	「I ♥ URESHINO」新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む“Withコロナ観光まちづくり”
9	宮崎県延岡市	市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業

(※)は、国土交通省道路局「内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業」対象事業
(都道府県・市区町村コード順)

未来技術社会実装事業（令和3年度選定） 事業概要

事業概要

提案タイトル	ドローン・IoT等の未来技術を活用した非対面医療サービスの構築
提案者	活用技術
北海道旭川市	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、ロボット(ドローン含む)、VR/AR

背景・課題

目指す将来像

解決すべき課題

- ・健診や健康相談等を通して主体的な健康づくりが実践されると同時に、身近なところで質の高い医療が受けられる体制
- ・新たな医療・地域サービスの実現を支える存在としての、地域産業群における先端技術の利活用促進
- ・今後予想される地域医療を支えているクリニックの閉鎖による医師の偏在と医療格差の対策
- ・地域企業への先端技術の導入や先端技術を活用できる企業の育成

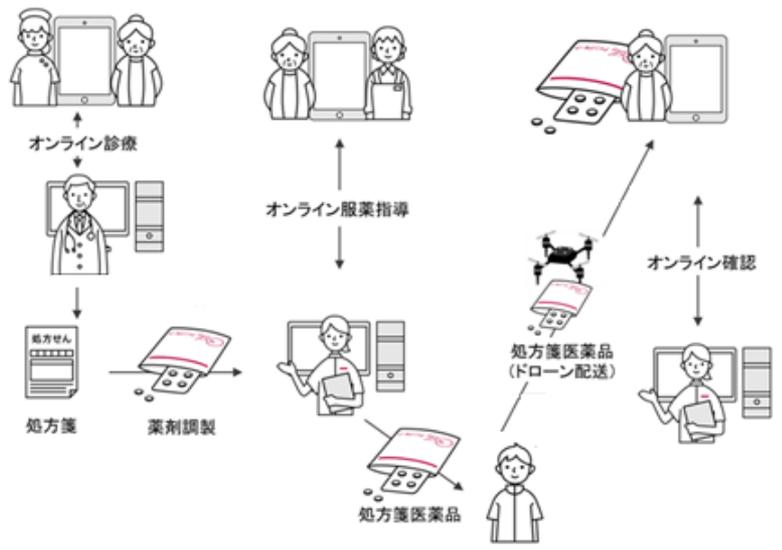
実装を目指す主な事業内容

○事業: オンライン診療体制整備事業

活用技術	事業概要
AI IoT	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルヘルスレコードの収集 ・事業所や自宅におけるオンライン診療体制の整備

○事業: 非対面型物流構築事業

活用技術	事業概要
ドローン 自動配送 ロボット	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪寒冷地における無人・自動物流の実証 ・人口密集地域におけるドローンの活用の実証



事業イメージ

事業概要

提案タイトル	自動運転サービスの活用による高田松原津波復興祈念公園等における伝承活動促進事業	
提案者	岩手県陸前高田市	活用技術
		自動運転

背景・課題

目指す将来像

解決すべき課題

- ・自動運転サービスの活用により観光客の満足度向上とともに、高齢者や障がいのある方を含む地域雇用機会の創出と、関連企業等の誘致・移住者の増加により、誰もが生き生きと笑顔で過ごせる「ノーマライゼーションという言葉のいらないまち」を目指す。
- ・高田松原津波復興祈念公園内において自動運転サービス等を活用し、パークガイドと連携した新たな移動手段を構築することで地域課題の解決を図るとともに、市内展開することで、地域コミュニティの形成と高齢者等の生活の足の確保に向けた検討を進める。

実装を目指す主な事業内容

○事業：高田松原津波復興祈念公園を起点とした自動運転サービス社会実装

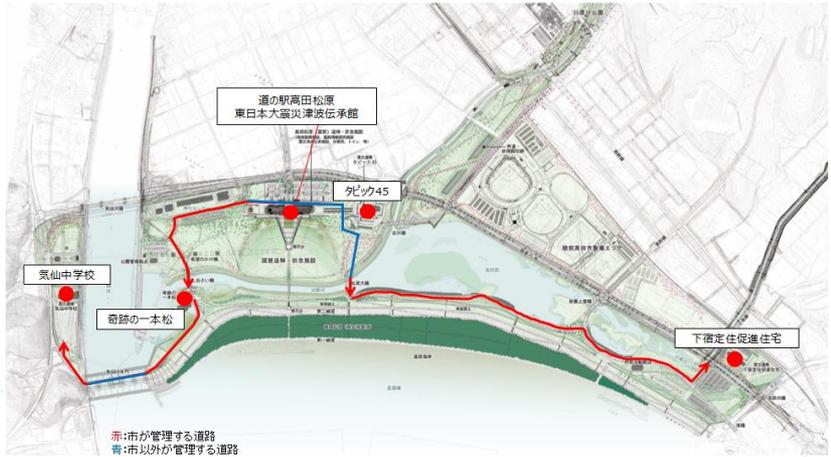
活用技術	事業概要
自動運転	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した再生可能エネルギーで走行するグリーンスローモビリティ等を活用し、高田松原津波復興祈念公園内及び各震災遺構をめぐる自動運転サービスの実装 ・自動運転サービスと高田松原津波復興祈念公園内のパークガイドとが連携し、震災や復興の状況をストーリーとして利用者へ提供することによる効果的な震災伝承活動 ・通信予測制御技術等を活用した複数台の自動運転車両の遠隔監視や運行間隔等の制御 ・高田松原津波復興祈念公園内での実証結果や活用した技術等を活用し、市内公共交通等へ展開することで、交流の場への移動や日常不可欠な活動（買い物、通院、通学）の移動等、地域コミュニティの形成等の課題解決にも繋がるよう検討



自動運転車両イメージ



高田松原津波復興祈念公園



自動運転サービスによる運行ルート

事業概要

提案タイトル	地域「講」モデルでの地域金融再興に向けたDX実証事業
提案者	活用技術
群馬県前橋市	キャッシュレス・ブロックチェーン

背景・課題

目指す
将来像

- デジタルとリアルを繋ぐ共通IDとしての「まえばしID」を構築し、まえばしIDを軸として交通・医療等のサービスを提供し、まえばしIDを通じて蓄積された各種データを活用することにより、提供するサービスの高度化及び個別最適化を目指す
- 金融分野においては、地域内で蓄積された購買・決済・与信等の金融データを基に、地域内における共助・公助の考えに則り、地域企業の与信獲得をスムーズに進め、再投資・融資につなげることにより、地域経済の活性化を目指す

解決すべき
課題

- キャッシュレス化の推進に伴い地域の購買・決済・与信情報といった金融情報が決済事業を行う大企業に集約し、消費者の購買履歴の地域外への流出を端として、地域経済の衰退につながっている

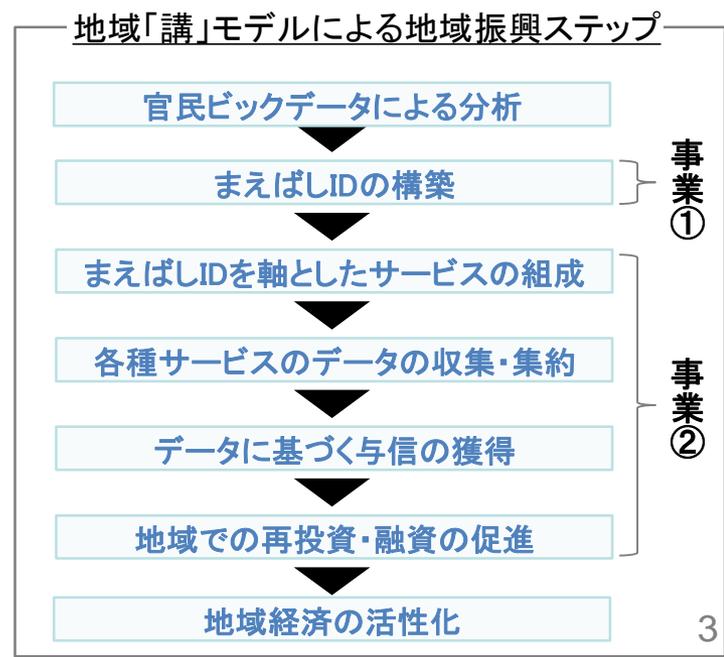
実装を目指す主な事業内容

○事業①:「まえばしID」構築事業(識別番号・本人確認・電子署名・ストレージ・ペイメント)

活用技術	事業概要
プライバシーを十分に確保し個人情報を取り扱うことができる堅牢なID/認証の仕組みを構築	<ul style="list-style-type: none"> 本人確認に必要な管理用の識別番号形態の検討・実装 デジタル空間上での本人確認の手法に関する機能の実装 デジタル空間上での本人意思の確認(署名)機能の実装 データの保管・管理に関するストレージ機能の実装: 電力地産地消型のデータセンターを構築し、グローバル大企業データ独占型でない、データの在り処が地域内で管理統制されている仕組み サービス利用に伴う支払に関するペイメント機能の実装: まえばしIDを介して銀行口座を直接つなぐP2P決済の仕組みをつくり、多数の金融仲介事業者が介在することによる社会的コストを軽減
キャッシュレス ブロックチェーン	

○事業②:まえばし「講」モデルのDX基盤整備事業(地域内決済機能の実装)

活用技術	事業概要
まえばしIDを活用した共助・公助に基づく地域金融を活性化させるためのDX基盤の整備	
キャッシュレス ブロックチェーン	<ul style="list-style-type: none"> まえばしIDを基軸としたサービス組成・展開、金融消費データの蓄積 金融消費データを活用する形での新たな与信の獲得、獲得した与信に基づく地域での再投資の促進



事業概要

提案タイトル	流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」の社会実装及びMaaS連携
提案者	活用技術
埼玉県さいたま市	AI、IoT、クラウドコンピューティング、ビッグデータ

背景・課題

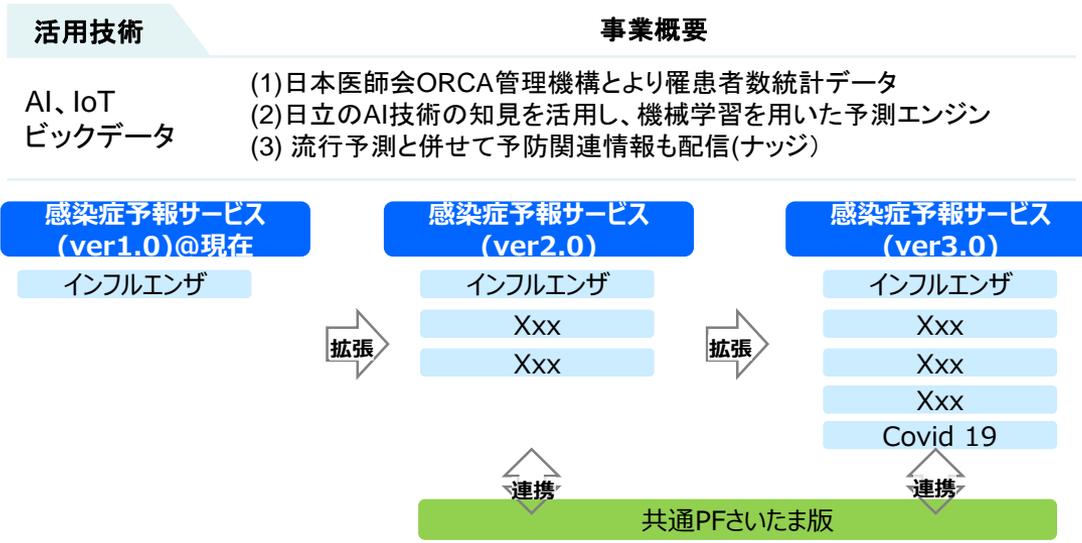
目指す将来像

解決すべき課題

- ・上質な生活都市の実現に向け、市民生活を構成する様々な分野において公・民・学が連携し、AI・IoT・データ等を活用した新たな生活支援サービスを提供、市民のQOL向上につなげていく
- ・「感染症は予報をもとに予防していく」という新しいライフスタイルにより市民QoL向上、市民満足度向上
- ・感染症予報による予防への行動変容による経済損失(インフル6600億円、コロナ3千兆円)、社会保障費の抑制

実装を目指す主な事業内容

○事業：流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」



チラシ・ポスター配布

[配布・掲示場所]
さいたま市内
・さいたま市庁内
・浦和署
・イオン店舗
・ワルシア店舗
・河合塾掲示板
(3カ所配布)

※アクセス数・LINE登録3/26 17時20分時点

<実証実験>

期間 : 2020年11月27日～2021年3月26日

アクセス数: **268,045PV** (約67,000/月)

LINE登録: 11,920人 (+4,163人増加・11/27時点: 7,757人)

Webサイトでの予報公開

図・さいたま市におけるインフルエンザ予報サービス実証

対応感染症

都市連携

展開先

さいたま市での実証

関東全域

全国

事業概要

提案タイトル	デジタルを活用した障がい攻略先進のまちづくり
提案者	活用技術
石川県中能登町	AI、IoT、5G、ロボット、VR/AR

背景・課題

目指す将来像

解決すべき課題

- ・「やさしい風土に磨きをかけ、誰もが笑顔で活躍できるまち」をコンセプトに“バリアフリー首都”を目指す
- ・地域の魅力を高め、人口の流出を抑えるとともに、交流人口や関係人口の増加が新たな移住、定住を呼び込むまちづくり
- ・人出不足や担い手不足、行政負担増を解消するための未来技術の活用
- ・移住や定住を促す、新たな産業や業態、雇用を創出する環境づくり

実装を目指す主な事業内容

○事業：観光ガイド支援事業

活用技術	事業概要
AI VR/AR	・古墳時代の能登国の王族や山岳信仰・戦乱の再現体験 ・AI・ARによる史実の正しい説明やお薦めルートの提案

○事業：古民家鍵管理・コンシェルジュ事業

活用技術	事業概要
AI、IoT AR	・スマホによる電子鍵管理を行い、役場職員の稼働削減 ・ARやホログラムを活用した歴史キャラのコンシェルジュ

○事業：伝統技術の継承と観光産業化事業

活用技術	事業概要
AI、IoT ロボット	・AIやロボットによる高齢者の手織りの負担軽減と伝統技術の継承 ・ロボットと熟練技術者の製作コラボの観光産業化

○事業：持続可能なグリーンスローモビリティ事業

活用技術	事業概要
AI IoT	・予約、運行ルート計画、ローカルポイント決済 ・地域の新たな雇用を創出



●「織姫伝説」とは…



●移動は心配ご無用です



AR「おりひめ」による観光ガイドのイメージ

事業概要

提案タイトル	超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業
提案者	活用技術
岐阜県中津川市	自動運転、VR/AR

背景・課題

- 目指す将来像
- 解決すべき課題

・自動運転技術と新たな拠点の創出により、「リニア等広域交通の整備効果を市内全域へ波及」と「多拠点ネットワークによる集約型都市構造」の実現。

①人口減少と高齢化の進展する中山間地域での持続的発展、②各拠点の魅力向上に向けた取り組み
③交通インフラの整備効果の最大化

実装を目指す主な事業内容

○事業：自動運転技術の導入・運営

活用技術	事業概要
自動運転	<ul style="list-style-type: none"> 人だけでなく農産物の出荷や生活用品の配達など貨物も合わせた効率的な運行。 既存公共交通との連携、代替としての活用検討。

○事業：自動運転予約アプリの開発

活用技術	事業概要
VR/AR	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転サービスを予約するだけでなく、収集・可視化した地域の歴史や資源等をアプリ上で表示し、訪問者等を集落内へ誘導。

○事業：拠点の創出・運営

活用技術	事業概要
VR/AR	<ul style="list-style-type: none"> オンライン拠点として、地域史料、地形や拠点候補地の可視化(一部3Dモデル化)により、情報発信。 古民家リノベーションにより拠点を創出し、住民、訪問者の双方を誘導。一部は、シェアオフィス等へ活用。

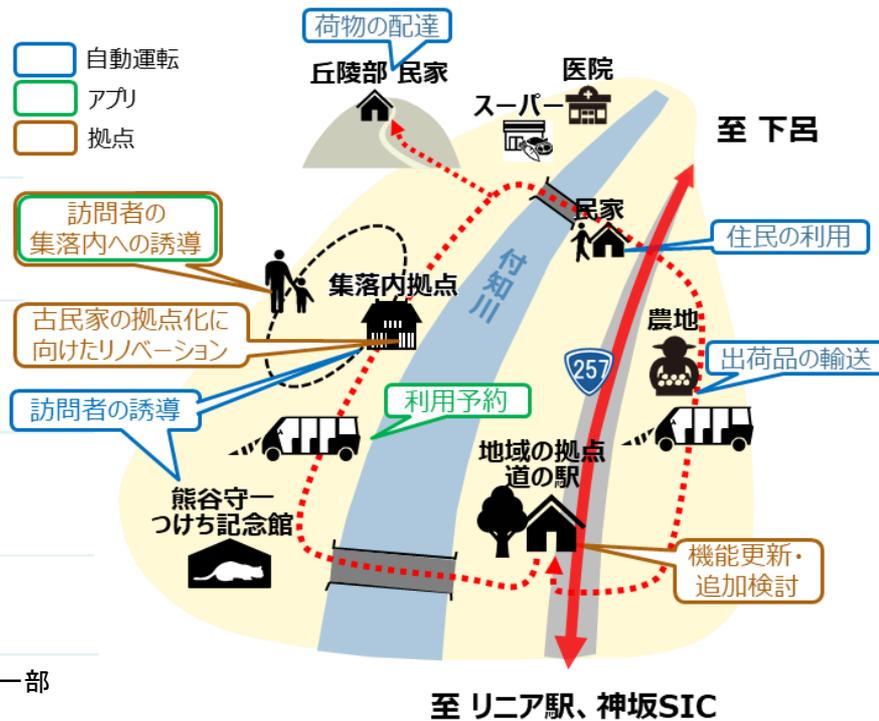


図 モデルとする付知町地区での技術実装イメージ図 6

事業概要

提案タイトル	自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業
提案者	活用技術
和歌山県太地町	AI、自動運転、ドローン

背景・課題

目指す将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が公園の中に住んでいるようなまちづくり ・くじらの学術研究都市＝まち全体博物館の実現
解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活の足の確保、高齢者の外出機会の増加 ・漁業振興や森浦湾等における観光振興

実装を目指す主な事業内容

自動運転実証事業：自動運転による持続可能な公共交通サービスの実現

活用技術	事業概要
自動運転	<ul style="list-style-type: none"> ・町の中心部並びに主要施設(病院・スーパー等)を多頻度で往復・周回することによる高齢者の生活の足を確保 ・道の駅を拠点とした主要観光地を巡る観光客の足を確保

ドローン実証事業：海域における物資輸送や鯨類調査等の実現

活用技術	事業概要
ドローン	<ul style="list-style-type: none"> ・漁具等の輸送による漁業従事者の負担軽減 ・観光客(マリン事業)へのサービス提供や、鯨類調査の効率化によりくじらの学術研究都市の実現を加速化 ・飛び地(夏山地区)へのドローン物流により距離的・時間的障壁を解消

見守り実証事業：防犯カメラ等を活用した高齢者見守りシステム構築の実現

活用技術	事業概要
AI	<ul style="list-style-type: none"> ・車載カメラ、防犯カメラを活用し、高齢者の見守りシステムを構築 ・カメラ画像を活用し、顔認証と行動認識を検証、認知症による徘徊や身体障がい者の危険察知等を実施



- 第1段階 町内周回コース：**周回約10km
(道の駅-坂野医院-漁協スーパー-はまゆうクリニック-南紀園)
- 第2段階 町内周遊コース：**周回約11.7km
第1段階ルートに森浦湾、くじら館、役場を追加
→延長(片道)：2.5km
※往路は新規拠点3箇所を通過、復路は新規拠点は通らず坂野医院方面から道の駅へ戻る
- 第3段階 地域拠点コース：**①往復約1.2km②往復3.6km
第1段階及び第2段階ルートに
①太地駅から道の駅区間を追加(電動カート)
②太地駅、地域福祉センター柳を追加(自律走行)

事業概要

提案タイトル	「I♥URESHINO」新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む “Withコロナ観光まちづくり”
提案者	活用技術
佐賀県嬉野市	AI、IoT、5G、自動運転、VR/AR、キャッシュレス

■ 背景・課題

- | | |
|---------|---|
| 目指す将来像 | <ul style="list-style-type: none"> 観光都市嬉野に誕生する新たな交流拠点(新幹線駅と道の駅の同時開業)を核に、未来技術を適用・導入。新生活様式に対応した観光まちづくり、既存産業の再生・新産業の創出を図り、人口減少の抑制と交流人口の増加を目指す。 |
| 解決すべき課題 | <ul style="list-style-type: none"> 観光客の減少に伴う観光産業の低迷が、地域の主要産品である「お茶」「陶磁器」等の既存産業の生産性に影響 また、その影響は若者の地域離れに繋がり、地域人口の減少に波及するなど負のスパイラルが発生している。 |

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業: 嬉野の魅力为全国・全世界に発信する環境づくり

活用技術	事業概要
5G VR/AR	<ul style="list-style-type: none"> デジタルモール・バーチャルモールの構築とサービスの導入 来訪者と生産者を結ぶコミュニケーションツール VR技術を活用した体験ツアー、オンライン観光ツアー 魅力をデジタルで発信できる地産のコンテンツ制作体制づくり

○事業: 来訪者の安心な移動を支えるモビリティサービス

活用技術	事業概要
AI、5G 自動運転	<ul style="list-style-type: none"> 手ぶら観光を支える市内周遊型の自動運転サービス 交流拠点内移動を支えるパーソナルモビリティサービス

○事業: 地域課題等の解消に向けたデータプラットフォームの利活用

活用技術	事業概要
5G	<ul style="list-style-type: none"> データ流通履歴を活用した観光資源の再発見、ご当地グルメの発掘 コンテンツの作り手・担い手の育成と教材としての活用



手ぶら観光を支える自動運転

事業概要

提案タイトル	市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業
提案者	活用技術
宮崎県延岡市	AI、ビッグデータ、自動運転、キャッシュレス、SIP

背景・課題

目指す将来像	子どもから大人まで一人ひとりの個性や能力を大切にしながら「製造業のまちならではの学び」を推進し、市民の「自地域肯定感」を育む安心・安全で、かつ利便性の高い社会をつくり、我が国のお家芸である製造業を中心に、市民が主役のまちを目指す。
解決すべき課題	高い質の教育を担保できない地方都市は、単身赴任を選択されやすく、高度人材の確保が難しい。公共交通の利便性を高めていかなければ、運転免許の返納が難しい。持続可能な地域づくりのため市民がより積極的にまちづくりに参加する仕組みが必要。

実装を目指す主な事業内容

○事業1: 知力・体力・人間力を育む「世界一の子育て・教育のまち延岡」事業

活用技術	事業概要
AI ビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> 「延岡子ども未来創造機構」を設立し、学びの「ログ」化等により児童生徒一人ひとりの到達度に合った学習ができる環境を整備 児童生徒のバイタルデータから体調の変化や心の不調などを把握し、学校における不登校児童の兆候を把握（医療×教育データ連携）

○事業2: 行動パターン分析による交通網を最適化事業(マイカー卒業社会の実現)及び「逃げ遅れゼロ」の避難対策構築事業

活用技術	事業概要
AI ビッグデータ 自動運転	<ul style="list-style-type: none"> 行動パターン分析によるバス路線・時刻表・停留所等の最適化。 シェアサイクル、デマンド交通、自動運転等の組合せによる交通ネットワークの構築により、バスでカバーできないニーズに対応

○事業3: 行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業

活用技術	事業概要
キャッシュレス	<ul style="list-style-type: none"> 健康に寄与する活動、ボランティア活動、SDGsに貢献する行動、健康づくりに関する活動等に対してポイントを付与しながら、行政の負担を軽減しつつ、市民の力で社会をより良くするためのキャッシュレスプラットフォームを構築



図1: 延岡子ども未来創造機構



図2: 行動パターン取得アプリ

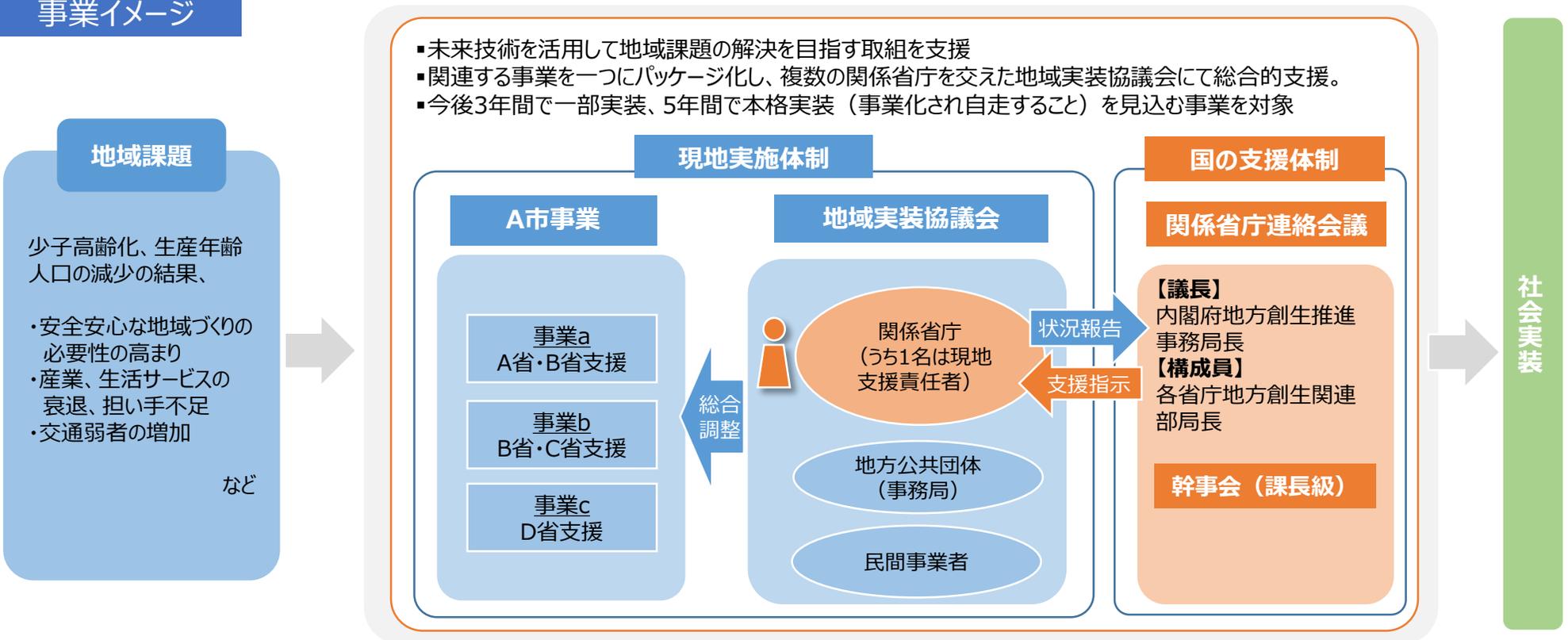


図3: 健康長寿ポイントアプリ

概要

- AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から、革新的で先導性と横展開可能性等に優れた提案について、社会実装に向けた関連事業の現地支援体制（地域実装協議会）を構築し、関係府省庁による総合的な支援を行う。
- 未来技術を活用した地方創生に関する提案を地方公共団体から募集し、H30年度に14事業、R1年度に8事業、R2年度に12事業、R3年度に9事業を選定、現在38事業に対して支援を実施中。（H30年度選定の5事業はR2年度末をもって支援を終了。）

事業イメージ

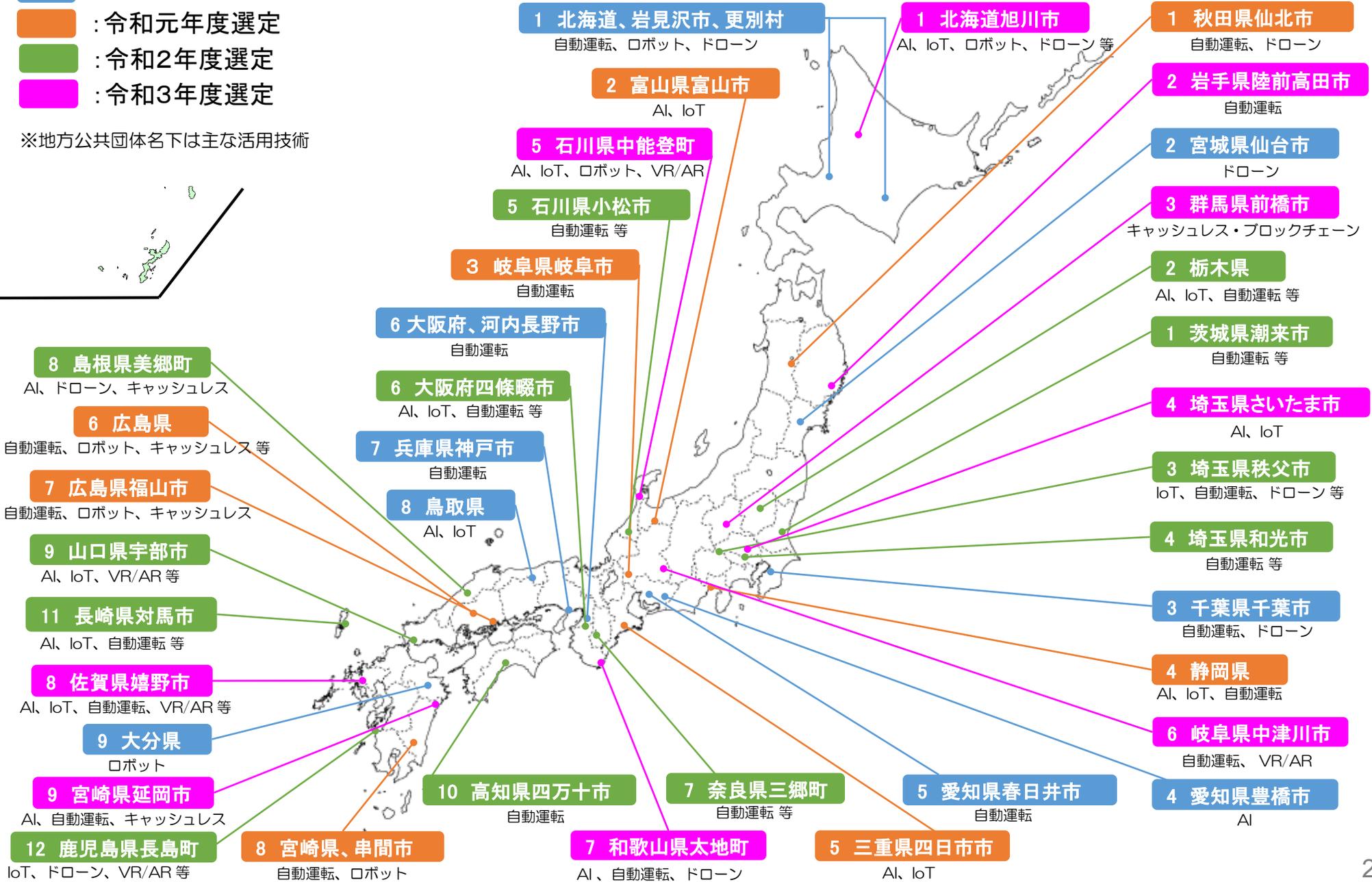
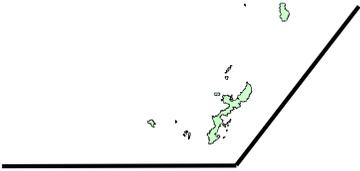


未来技術社会実装事業 一覧

R3.8.24時点

- :平成30年度選定
- :令和元年度選定
- :令和2年度選定
- :令和3年度選定

※地方公共団体名前は主な活用技術



未来技術社会実装事業 一覧

	No.	提案者	提案タイトル	主な活用技術
平成30年度選定（9事業）	1	北海道、岩見沢市、更別村	世界トップレベルの「スマート一次産業」の実現に向けた実証フィールド形成による地域創生	自動運転、ロボット、ドローン
	2	宮城県仙台市	防災・減災分野におけるドローン活用仙台モデル構築事業	ドローン
	3	千葉県千葉市	幕張新都心を中核とした近未来技術等社会実装によるユニバーサル未来社会の実現	自動運転、ドローン
	4	愛知県豊橋市	近未来技術等を活用した「AIヶアシティ」形成事業	AI
	5	愛知県春日井市	高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業	自動運転
	6	大阪府、河内長野市	少子高齢化社会における自動運転技術を活用した新たな移動サービスの創出と健康寿命の延伸 ～社会保障費等の抑制による持続的なまちの発展をめざして～	自動運転
	7	兵庫県神戸市	地域に活力を与える地域交通IoTモデル構築事業 -神戸市における自動運転技術を活用した住み継がれるまちの実現-	自動運転
	8	鳥取県	インフラ情報・管理技術を活用した地域安全マネジメントの展開	AI、IoT
	9	大分県	遠隔ロボットアバターを通じた世界最先端地方創生モデルの実現	ロボット
令和元年度選定（8事業）	1	秋田県仙北市	近未来技術を活用した仙北市版グローバルイノベーション	自動運転、ドローン
	2	富山県富山市	富山市スマートシティ推進基盤活用促進事業	AI、IoT
	3	岐阜県岐阜市	階層構造の公共交通ネットワークへの自動運転の展開により地域先進モビリティシステムを構築する地域活性化事業	自動運転
	4	静岡県	「VIRTUAL SHIZUOKA」が率先するデータ循環型SMART CITY	AI、IoT、自動運転
	5	三重県四日市市	AI・IoTを活用し、働き方改革と新たなビジネスの創出を実現するスマート産業都市	AI、IoT
	6	広島県	AI/IoT等実証プラットフォーム事業「ひろしまサンドボックス」	自動運転、ロボット、キャッシュレス 等
	7	広島県福山市	先端技術を活用した地域課題解決実証事業 ～「まるごと実験都市福山」の推進～	自動運転、ロボット、キャッシュレス
	8	宮崎県、串間市	地域資源とスマート農業技術を融合した次世代農業振興拠点の構築	自動運転、ロボット
令和2年度選定（12事業）	1	茨城県潮来市	道の駅「いたこ」・水郷潮来バスターミナルの地域拠点を接続する自動運転サービス事業	自動運転 等
	2	栃木県	とちぎの林業イノベーション by Society5.0	AI、IoT、5G、自動運転、ドローン
	3	埼玉県秩父市	山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業	IoT、自動運転、ドローン 等
	4	埼玉県和光市	地域拠点間を接続する自動運転サービス導入事業（和光版MaaS構想案）	自動運転 等
	5	石川県小松市	小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業	自動運転 等
	6	大阪府四條畷市	けいはんな学研区域（田原地区）における地域主体の持続可能なまちづくり	AI、IoT、自動運転 等
	7	奈良県三郷町	5Gを軸とした全世代全員活躍のまち「スマートシティSANGO」	自動運転 等
	8	島根県美郷町	映像告知やドローン等の未来技術を活用した遠隔医療実装による美郷町版医療福祉産業イノベーションの実現	AI、ドローン、キャッシュレス
	9	山口県宇部市	レジリエントで持続可能な社会を創る「スマートシティ宇部プロジェクト」	AI、IoT、VR/AR 等
	10	高知県四万十市	自動運転技術利活用による地域公共交通システムの構築	自動運転
	11	長崎県対馬市	対馬スマートシティ推進事業	AI、IoT、自動運転 等
	12	鹿児島県長島町	先端技術を活用した長島大陸未来都市実証事業	IoT、ドローン、VR/AR 等

未来技術社会実装事業 一覧

	No.	提案者	提案タイトル	主な活用技術
令和3年度選定(9)事業	1	北海道旭川市	ドローン・IoT等の未来技術を活用した非対面医療サービスの構築	AI、IoT、ロボット、ドローン 等
	2	岩手県陸前高田市	自動運転サービスの活用による高田松原津波復興祈念公園等における伝承活動促進事業	自動運転
	3	群馬県前橋市	地域「講」モデルでの地域金融再興に向けたDX実証事業	キャッシュレス・ブロックチェーン
	4	埼玉県さいたま市	流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」の社会実装及びMaaS連携	AI、IoT
	5	石川県中能登町	デジタルを活用した障がい攻略先進のまちづくり	AI、IoT、ロボット、VR/AR
	6	岐阜県中津川市	超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業	自動運転、VR/AR
	7	和歌山県太地町	自動運転やドローン等未来技術を活用した高齢者が幸せを感じるまちづくり事業	AI、自動運転、ドローン
	8	佐賀県嬉野市	「I ♥ URESHINO」 新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む"Withコロナ観光まちづくり"	AI、IoT、自動運転、VR/AR 等
	9	宮崎県延岡市	市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業	AI、自動運転、キャッシュレス